

札幌トレセン大会報告書

2018. 12. 25
札幌4種技術委員会
札幌トレセン（吉沢 一樹）

1、大会名・日程

横浜遠征（ガチアーズカップ）

2018年 12月21日（金）22日（土）23日（日）24日（月・祝）

2、参加選手（ ）内は所属チーム

- ・上條冬桜（西園サッカースポーツ少年団）・奈良京樹（クラブフィールズ）・千葉来輝（DENOVA）
- ・森下春人（NORTE）・伊藤れん（スポルティング）・柿崎陽太（SSS）・小松隼士・窪田圭吾・傳光太郎
- ・牧野岳・櫻庭一斗・辻拓実・数馬田舜・高野空・秋陽凧・今井朝陽（北海道コンサドーレ札幌）

3、引率者名

団 長：浅沼 達也（北海道コンサドーレ札幌） 監 督：吉沢 一樹（アスルクラロ札幌）
コーチ：相川 雄介（北海道コンサドーレ札幌） コーチ：柳 宏一（石狩FC）

4、大会結果

12月22日（土）ガチアーズカップ（しんよこフットボールパーク）15分 - 5分 - 15分

対 大宮アルディージャ 0-0 △

対 鹿島アントラーズつくば 1-2 ● 得点者：森下

対 あざみ野FC 0-0 △

予選リーグ3位

12月23日（日）

9～12位決定リーグ

対 浦和レッズ 0-0 △

対 東京ヴェルディ 0-2 ●

対 あざみ野FC 1-2 ● 得点者：小松 最終結果12位

12月24日（月・祝）練習試合（しんよこフットボールパーク）15分 - 5分 - 15分

対 ヴァンフォーレ甲府 2-2 △ 得点者：柿崎・傳

対 横浜F・マリノス 0-6 ●

5、成果と課題

成果

- ・攻撃では優先順位を確認しながら、狙いのあるファーストタッチが増えたことにより縦へのパスが入り攻撃の回数が増えた。
- ・守備ではどこをやらなければならないのかを考え、立つ位置を修正しながら、守備にも狙いを持つようになった。

課題

- ・奪いに行くのか、行かないのかの所の、個の判断、パススピードや相手の状況をみて奪いに行く場面が少なかった。
- ・狙いをもったファーストタッチ。ボールの置く位置で局面が大きく変わってしまう。
- ・強いプレッシャーのなかでも、慌てずにボールを扱う技術。
- ・フィニッシュの質。

- ・最後になりましたが、今大会に参加出来たことは関係者皆様のご協力があって参加することが出来ました。チーム関係者、保護者様、皆様に対し感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

